

千恵蔵の現代劇
小杉 勇・花柳 小菊 主演
山本聰三郎・村田知榮子 主演

人生劇場 残俠篇

明容後 治られ かねて 大に 正に 時代 へ 流 潮 流 押 残 生 も く し 哀 行 び 滅 ！ 委 明 容 後 治 られ かねて 大に 正に 時代 へ 流 潮 流 押 残 生 も く し 哀 行 び 滅 ！ 委 明 容 後 治 られ かねて 大に 正に 時代 へ 流 潮 流 押 残 生 も く し 哀 行 び 滅 ！ 委

古復政王
週宣
間傳

稲垣 浩 監修
阪東妻三郎 主演
森夕起子 主演
澤村國太郎・山本聰三郎 特別出演

勤王！討幕混戦たる時代忽然
闇に出没する謎の人物影法師
の活躍銀幕界を轟斬つた巨篇！

影法師

毎日午前開映 四十銭均一

十二日 二日限り
十三日
新京キネマ

る探を馬躍活の春

優勝競ふ古豪陣

上原口、田中、松本、麻舎

「順興」の馬の指しに於て、秋第一次の鞍馬甘王を並頭し、秋第二次の鞍馬大栗、駕馬武馬の他に新並の各抽馬、武馬古栗を並並て各抽馬（或は鞍馬）を懸るに堪へたもの、この内から順興の陣地を阻むものは王、睦馬、武馬、穴馬として鞍馬等の陣地を見送るに無傷の馬前ではある事、が至る所であらうが調に依る近況が、見れば鞍馬の榮に一日の長と云ひ、更に新並の光雄は前年の穴馬として期待出来る、遠來馬に就ては往々にし研究を志せる鞍馬は遠來馬穴馬が六十匹程となつてゐる。記録

多いが、鞍馬の榮、遠來馬の陸は鞍馬鞍馬前並頭五年の春地であつて昨年の記録を調へて之と相當のものである。即ち鞍山昨年春、大幾四二分、一八〇米、於て二日分、秒三、鞍山馬等の新記録を立、六十三回穴配を出したる、同じく第七目の抽馬前勝一、二に上場してゐる。こゝでは第四となつて重なり、生活にはなつた様である。昨年、に於ける同數も相ならぬもの、四十二回、一三回、二、二、三、三、六、六、十、十、十一回、受賞銀六千六百四十圓となつてゐる。記録

こゝである

△

田中富吉の各抽では金馬、駒勇の頭を陣頭に進め、重々しき成果への待遇である。順興は山鞍馬馬の出で、期待の活躍も出来なかつた様である。一戰に參加する事であるが、一戰馬を引いて來なければ、順興の脚は足らない。此處、前年を上げ、優勝レコードの一戰に參加する事であるが、一戰馬を引いて來なければ、順興の脚は足らない。此處、前年を上げ、優勝レコードの一戰に參加する事であるが、一戰馬を引いて來なければ、順興の脚は足らない。

既約定支那向豆油
輸出の積出緩和

六十萬圓の取組許可

支拂向け豆油の低價引出輸出の
積出し許可額和は滿洲國政府
及び關東軍、州廳當局におい
て満濟の立場、經濟協力の要望
を考慮し積出しの制限を弛むた
るものにして特に不足箇面に於
ける積出しに許可するに至り
特設三圖面では滿洲國三十六
萬圓（日本商船十四萬圓）の
例金で相當つて一決定
之により當着つて豆油輸出約
定の積出しは四月頃迄三月
の分は認められ、かくして三月
以下の對支條條の發効まで
以下來對支條約定の豆油、豆油
の輸出爲替取組の許可は凡そ

百五十萬圓となつた。しかしし
て業者が政府が非常手段を執
るのに對する事情を充分込め
た對支條條を適用を充分込め
た對支條條を適用し日本
内地及南洋羣島經由の對支輸出
を試みることにするが如き厳格に
戒められねばならぬ。

この點に關しては政府當局は
脱關を防止して防止に當る者
と對策を立ててあるから業者
の自願により不祥事の発起を
豫止することが切要とされて
ゐる。

左の對支輸出今後の政策とし
しては（一）對外輸出の貨客を
純納稅物徵收その他諸課

が舉げられてゐるが、
の協力による輸出組
成與輸出調整を圖る
と支拂としてても
支拂となるがれが最
大商業的實現に
進ずることとなつ

大阪商船
川崎汽船株眉居
天阪國通 大阪商船
五銀行所屬の川崎造船
株（五十圓）額持株者
十三萬六千七百廿七株
ル・ブローカの手を
肩擔することとなり八

大阪商船

第二松花江水電貯水池の上流に接近する吉林省輝南县及び撫甸平野二千町歩を浸水から救ふ第二松花江の支流輝發河防水堤防の築造工事は水力電気建設局で準備中であつたが、

讀有領

私は床屋である。去る四月四日の午後九時半鐘である。廣く地した古徳瓦の様相である。廣く厚い肩幅、國防服の型變りの「オーバー」に、ボツターの編士の靴を穿いた足元からに頭丈さうな見馴れぬ御婦人の御客が二人來り、顔を割つて呉れることゝある。然も一寸餘り延びてゐる。御國に行く高き處に打れた。彼等が額

はなから、之に似し御婦人は、之に、勿論、

云はんダイヤの指環、銀製の襟の紐を御尻に垂れ、化粧の様な動作、半笑美婦な言動動作に、手に懸すべき御物を受けぬでない、

を親しむ者、一方は都會うした禮儀の意義はあらずの二者を比較するの諸語に於て、斷斷の餘りしきを語と共に社會

母不
访问记

[illegible]

四億圓を突破

昭和十四年度事業費豫算第一
億五千八百萬圓は去る三月
五日正式認可を得た後、清
野の増補を必要とし、本年度追
加予算につき十一日の鐵道通
關省交通會社設立を俟つて

的に滿洲調查機關のうちに包
合したが、四月末には東亞經
済調査局も正式に改組、同局
員の身分も滿洲部に還元さ
れる筈である。一方本月中旬

定した、これによつて満

東京の東亞經濟調查局

月末滿鐵に還元

以て發表、いよく東亞全盤にわたる調査を遂行し、發見した結果を東京にある東亞經濟調查局に滿鐵還元して就ては、充分に同局の身分を四

長理事に内定

滿鐵は佐藤新副總裁の資格に伴ふ理事一名の補充を關し、大村新總裁の手許で鐵道を急いで、また鐵道部長の地位を必要とする折柄結局、昨非天鐵道局長長村川連四郎氏を鐵道に推薦すると、内定六議院は十日日北交通會議副議長鹽會に赴任後新京、哈爾濱、東京に赴任後新京の諮詢を得、大體五月中には同氏を理事就

用國權雜誌とて實質

鐵では佐藤新副總裁の昇
伴ふ理事一名の補充に關
於所惠哉の手許で全額と

八月限	●高	八月限
七月限		七月限
六月限		六月限
五月限		五月限
四月限		四月限
三月限		三月限
二月限		二月限
一月限		一月限

で、私達一行は永
傳容を誇る議事堂
帝都に巍然と聳
つた、
この

しなかに傍聴人になつたつゝ、
てに驚かされて見た。ところが
意外にもクッションはたまたま
立派なものでない續だつた。こ
んな魚のちやうどと同じだと
評負ふのもちよと同意した。正
午見學を終りそれから後はお
友達同志連れ立つて、
志すところへ向つた。集會
出ると、動物園に向ふもの
お持ち兼ねの親戚を訪問す
もの、實に今日の日は私漢
にとつては楽しいとても終つ
な一日だつた。夕御飯を終つ
て後は今日の一日を語り合ひ
成は買物を見せ合つたりして
語は一入はずんだ。

高梁 週初當限五・二一〇
月限五・三五〇と寄付

四月限 本出 10 萬 3 千 1 百 1 十 三 圓 1 十 三 錢
 五月限 本出 10 萬 3 千 1 百 1 十 三 圓 1 十 三 錢
 六月限 本出 10 萬 3 千 1 百 1 十 三 圓 1 十 三 錢
 本週還出未 1 萬 1 千 1 百 1 十 三 圓 1 十 三 錢
 一 日 平 均 出 來 高 1 萬 1 千 1 百 1 十 三 圓 1 十 三 錢

●大連局式（短期）

滿 取	奉天株式	大豆新	土木新	滿鐵	鑛業
	(短期)				
寄付					
大引					

五日
品產

[illegible]

四月限	七六九	六七二	三〇
五月限	六七五	六七五	一
六月限			
七月限			



若葉榮子嬢

銀座座銀

電話 三三九二番



元新興キネマ京都撮影所
スター
若草みどり嬢

[illegible]

各種

品質優良

納期迅速

乞御一報

出口金屬彫刻所

大阪市浪速區敷津町一丁目二七
 振替口 阪大阪四七 九九六番

創業二十年信用を賣る店

山口の自轉車代理店

の御用は澤山商會

日本橋通南廣場東
 電話③三一五七番

威權 世界製紙

名作白梅便箋

大衆向廉價

紙質優良

製本堅牢

意匠優美

其他紙製品一校

學堂

洋行

和封筒各種

便箋

白菊口

本業

駐台式株

店紙堂光東根山

非平・川戸江・東京

都寶販京東

總代理・東京

（カワト……中野政行監

鹽田聖作

が毎くやうに、
毎日緑く灰色の空のかなた
に、陽光がある、それが、灰
色の雲を消して全身を表はす迄
待つのだ。何と新しい希望
だらう。と彼女はや、アパート
の根柢な二重ガラスを毎朝通
して見つめるのであつた。
或る晩であつた。寒さの烈
しい近頃は、むせ返るやうな
酒桶の中へ、暖を求めて飛込
み客で一杯であつた。十時ほ
一寸過ぎたと思はれる頃、四
人連れの青年が入つて來た。
彼等は、もうかちん腑つてゐ
た。人手が足りなくて、蘭香

か・る・け

一、得意の學科であつた後には、讀みない女流作家の小説を、ペットの敷いた机の上に置いて、大に満足してゐた。私は決して心落さなかつた。女給でないから、如何に巧みで、行きが如く無任の方に入つたかと思ひ、自づから一度は思ひ、自分も賣物で、灰色に近い、然るに賣物が、灰色で濃いのと、洋装だけを見ても、布で縫つた、洋服等では、却つて、その純情を表はしてゐる。つまつし令嬢のやうな氣風は、殊さらに、公家國體を遺棄して、自

昨午、暮か引き續く病床にばかり親しんで、殆んど外出すること出来なまゝの、二病室とも三とも重なる、一つが良くなれば、一つが悪くなるという、あつた。此頃では慣れたし、しかし此頃では自分が一言で判かり、自信が持てるようになり、體の調子によつて自分て調子をうつてゐます。そしてこれと結局とも、一方にてもふやう親切に三つて下さるもありました。國者からは別した宣告書、受ける言葉が過るしく、それを聞

受け入れられる氣持はかたし。せめて借金だらけにしまへ、身輕なところに行つて死なたい、と云ふものが唯一つの氣持だつた。一日、狭い部屋に、さうして居ても、何處とも、美しい春の氣が、何處となく窓を開けて、そこから傳へた空の色をみるの、然るに、こんな驚きな、たのしみとした。それは私の書いた詩、然るに、半島、經濟、経済、の報告ニュースが送られて來ました。それは私の書いた詩、篇かその映画の宣傳文、引用されたか、と。

一、朝野の古典文學として、

邵
洵
美

大內隆雄譯

[illegible]

煮痕灸 神経痛 淋病 肋膜炎
 ホルモン 冬虫夏草 胃腸 婦人病
園田鍼灸院
 豊劇前 電話 〇四四八〇番

はあ、あ、あ、私はちよつと前にも感じたりした。と、前にも感じたりした。

「洗滌」といふ漢語可憐な娘が自分の父を救ふために、身代り三目石を買ひ、船人に買はし「一舟神」の額と云ふ江戸流の中へ身を投じ、と云ふのが大體の筋であります。ストーリーは平凡な傳説的悲劇で、別に珍らしくもないので、原形を讀んでゐるもの、どの程度近代化されてゐるのか、知るものもあります。然、映画では眞實な感じはしほし受けてないやうです。

監に就いて一筋の運び

來たりしてとつて、つたたりと私の感情を溶け合はなぬものがあるのをどうするものも出来ませんでした。これ半島の人と永くこのと交際しては何か割り切れないものがあるものと同じくと思ひました。

私のこゝろを強く引きつけたのは、朝鮮の若の俘囚とその妻孥をこめた哀劇です。今この感想を寫す際すらも、惟々とした悲しい調子で聞えて來るや、ある氣がかりなものであはれ、唯、唯に効果的であつた、と感心致しました。

でありました。讀んで「讀んで」可成り興味を感じた記憶が、だにに残つてゐます。朝鮮語の姿を認識する爲には、先づ其代表的古文文學を通じて、さへなればならないのは、何處の國の場合も同じだと思ひます。一孝子沈清傳が朝鮮古文學として、この種の價値を有するものか、廣く民間に流布され尊傳されてゐることは事實のやうです。それは私の家に居る半島人のボクに聞いても、沈清傳の外交員に聞いても、ならぬ得意につて説明してくれました。私は豫

ひました。半島沈清を演じた金奎英さん、半島の誇るスーパードと聞いゝますが、嘘の通り立派な女嬢さんだと思つた。大に文藝館に上つて此の大にじても、半島の女さんはんは弱へし哀婉切々と此の歌が響く、明らかな雄雄さに感

たと思ひます。またつと書きたいと思ひました。亦然と出て來たのが舞臺へてなりません。ここへペンを書きます。最後に映画「沈清」は、その演習と同じやうに、傳説的要素を巧みひ抒情詩です。三二五夜：

本棚初全希
望の新刊は
本誌編輯部
宛郵送
宛郵成慶し
(係)

書目
架

本棚初全希
望の新刊は
本誌編輯部
宛郵送
宛郵成慶し
(係)

交誼資料(二月號)
「交誼資料」新開
期定稿、本誌の他の研
究會社各誌(三十號)
時評「與世を觀み」

交誼を盛つてゐる(新京
中央通、滿洲國通信社、一
角三)

交誼資料(二月號)
「交誼資料」新開
期定稿、本誌の他の研
究會社各誌(三十號)
時評「與世を觀み」

交誼を盛つてゐる(新京
中央通、滿洲國通信社、一
角三)

通俗への顧落

一高見鳳一都會の雌雄

（『新潮』四月號）

と思つた。現代文學らしい、言れども、内容は全くの通俗小説たる少女・香衣會社に動いてゐる種で書物語を中心としたもので、その骨格は極めて通俗的なものも落ではあるまいか（御垣衛士）

になつた。佛工部局からは道ぐ調査やつて來た、天井の奥から爆音が立て來く、一尺くらゐあいた。圖のやうな形だつた。大それた爆発といへぬ。また世界のこころには本當とも思ふべくならぬであつた。この流が發見された。……

發見した「清流」が二位一體の完全なる有用に二つと木崎閣一社會主義と映遊、益壽五郎、遊洲國と映遊と諸問題を通じて、その他、記を載せる。（『新日本』、文藝十五號）

△滿洲國赤十字救護三十五號

△關東軍物資價目表（其月報）（昭和十三年十一月分）

△所長（四月一日就任）

非常女子部の美術、師道高野、日本子部をラフで紹介、その他内外事務概説

計師だともう一人の婦人と正副會長に當選した。そして毎月金を出して砂や海産品、楊花、紗布、麻等を賣りに行つた。午後の會議室三回開いた。そのため各委員の細君が支那官舎に出した。毎旬會議が開始通りに開かれず、又會計司もこれと致す可い。

△滿洲國の情勢誌として、各種植物動物、土產物の、さまざまの產品について説明できる、豐富に各種の文獻を舉げてゐるのが喜ばしい。（『新東京』中央七六、滿洲事案內所附、四十七號）

△滿洲國警察事情

△滿洲國の變政

△滿洲國の海運、湖沼警務日滿關係の發展、工業總論と日滿經濟の増進計畫等に分つて解説した一冊（『新東京』通六、滿洲事情內所附、三十號）

△駐川美介（『滿洲開發の心算』）

「……社長の聲が、一然可承へ、文藝等、……電氣社

電報の中に「藤澤の住人の中に辯護士が一人居る。その人を請うて来て二人を閉めることと發起して、一人の醫者を會社の席で襲失し、他五名の危険について説明した。そこで四回執行役員委員會が成立した。執行委員を選挙し、發行人が主席になつた。私の陳謝が會

會社に於ける地位は、この時には太刀がめたくなつてしまふのだ。數日経つて、消火警が該廠の壁の上に出現した。私の職務は用事があるとして上海を離れねばならなくなるかもしれない。この會社の進行状態も私は直接に聞かれなくなつた。

會社に於ける地位は、この時には太刀がめたくなつてしまふのだ。數日経つて、消火警が該廠の壁の上に出現した。私の職務は用事があるとして上海を離れねばならなくなるかもしれない。この會社の進行状態も私は直接に聞かれなくなつた。

出現!!

代理店募集

京橋西大門口（大白鷺園）

總代理 電元

神 崎 神 聖 堂

藥品直輸入株式會社

三三四〇・二〇七九 振替口座

三三四〇・二〇七九 京橋西大門口

電元

大本金百萬圓



上野公園主産
FARMAN B.O.
● 混合利
讀書、運動
散歩に
御愛用下さい

迅速叮嚀

大丸樂器店

新嘉坡二丁目三二
電話②二一〇四番



威権高最の界醸

黒松白鹿

元売發
行洋村西
八五四五(3)電

創立
明治四十年



創業三十餘年
品質本位を以
て終始一貫す

安實進白菊松五
東味正竹色
米淋軍鹿宗梅蘭
寶尾(東)滿丸黒
順張淡洲辰松
スシ白醬正白
米耐油宗鹿

發賣元

建設の春

近代味覺の最高峰
割烹新京の新鮮、獨自の日本料理は味覺
の新春、いよく絶讃、御好評を蒙つて
居ります
季節向きの美味隨一純日本料理

味覺總動員！

風流なべ 御一人前 三圓五十錢
武骨なべ 三圓五十錢
鹽濱なべ 四圓五十錢
野菜なべ 二圓五十錢
特製すき焼 二圓五十錢
特撰料理(會席八品) 五圓
呑み放題 御一人前 三圓八十錢
二次會要らず
十名様以上の御會宴に限りませう

御宴會は特に御相談に應じます

八十名様まで御引受

電話③二六〇一番へ

純關西料理の調理師新人増田師へ店

精々御試食、御批評を願ひ上げます
酒は灘の代表酒、丸辰白鹿、
瑞正宗、黒松白鹿専用

美味報國

富士甲二丁目
電番一〇六二

割烹新京

100

に最も物のある野郎内のある番衆と罵倒されて大恥中に出し、さらに下着を脱ぎ、一日も早くこの最新の胃腸薬サンによつて本格的に治療なす。心からお奨めします。

胃腸が悪いのは、胃腸の内部に故

<p>特製品カステーラ</p> <p>官學 店應校 御用達</p> <p>カネタ製菓總工場 FEBRUARY 1936 一八六六號</p>	<p>民刑事訴訟顧問及鑑定貸家賃地管理 滿洲國特許商標登錄・諸書類作成</p> <p>黑田實法律事務所</p> <p>新京朝日通三十三番地 日本橋區より西九丁目 電話①五四四九番</p>	<p>貨出勉強 大々勉強</p> <p>春の洋服類</p> <p>三ノ三町祝京義 店質屋浦三 番五七七三①電</p>	<p>滿洲國新鑛・法に依る申出・出願手續一切</p> <p>種類 書類作成・圖面調製 鑛床說明書・串計 畫書・登録手續・鑛 物鑑定・鑛山調査</p> <p>其の他鑛山經營及買賣の相談に關して</p> <p>大谷鑛業社 請寄所特許會社指針第廿七號</p>	<p>民事商事刑訴訟 法律顧問及鑑定 會社組合設立手續 特許商標出願審判</p> <p>原法律事務所 新東京區町三 番天美池邊廿八番地 電話〇五二六番</p> <p>原惣兵衛 小松久雄 田崎昌亮</p>	<p>海陸運送 荷造引越 トランク運搬</p> <p>新京梅ヶ枝町二丁目(ダイマ街) 西山運送店 電話③三三二番六番</p>	<p>取扱品 各國羅紗洋服附屬品式一 東亞ペイメント諸建築材料</p> <p>日滿商事石炭指定販賣店</p> <p>新京日本橋通 加藤洋行新支店</p> <p>電話 石塚路一二〇三、一二五八、 廣島路料事一二二二</p>
---	--	--	---	--	---	---